

O.B.O.G 訪問

看護福祉学部
福祉マネジメント学科 編

今回は本学卒業生5人が一度に登場する欲張りな企画です。
放課後等デイサービス「ホワイトラーニング」(運営:株式会社one fy)で児童指導員として働く卒業後2~4年の5人を紹介します。

ホワイトラーニング(札幌市手稲区)児童指導員



増川 汐音さん
(2021年3月卒業)

「就活中に、先輩の就職先という
ことで見学に来て、職員と子どもた
ちのいい表情で決めました」



山谷 珠実さん
(2021年3月卒業)

「同窓生は聞きやすい、言いやす
い、心強い存在。"医療大あるある"
で盛り上がることもできます(笑)」



安保 麻湖さん
(2019年3月卒業)

「スタッフ全員正社員(意外に珍し
い)という点と、センスの良いweb
サイトが転職の決め手でした」



岡田 耕祐さん
(2020年3月卒業)

「いまは「地に足をつけて」を意識
して仕事しています。足場が固ま
ったら新たな挑戦スタートです」



氏家 直紀さん
(2020年3月卒業)

「就活中「株式会社で福祉」が新
鮮に感じられ、福祉の新しい側面
を学びたいと飛び込みました」

■ スタッフ平均年齢約27歳

札幌市郊外、周囲の住宅に溶け込んだ
シンプルな2階建てのホワイトラーニングは
放課後等デイサービス。6~18歳の障がい
や、発達に特性のある子どもを対象に、放
課後や長期休暇中に学習のサポートや自
立、充実した生活に向けた支援を提供する
児童福祉の施設です。一つの建物に3事
業所が入り、1日に合わせて35~45人の児
童が来所します。

築2年の建物内部は、ホワイトラーニング
の「子どもたちの素直な気持ちの“白”を守
る」の理念そのままの空間。余計な色、装飾
がなく、行動や想像力が制限されない自由を
感じます。そして、代表含め17人のスタッフの
平均年齢は約27歳。本学卒業生のほか保
育や初等教育、介護などさまざまな分野の
若い専門職がのびのび働いています。ちな
みに、多彩な経験を積むために児童養護施

設から転職した安保さん以外の本学卒業生
4人は新卒での採用です。

■ 「全力で楽しませろ！」

ホワイトラーニングのモットーは、全力で子
どもたちを楽しませること。そのために本学卒
業生も自ら楽しく仕事をしています。もちろん、
楽しさの陰では安全や個々の特性に最大限
の目配りをしています。

朝出勤したら全員で隅々まで清掃・消毒、
学習ドリルやレクリエーションなどの準備をし、
授業終了時間に子どもたちを学校まで車で
迎えに行きます(手稲区・西区・北区)。1時
間半ほど子どもたちと密度の濃い時間を全
力で過ごした後(この間に連絡帳の記入も)
は各家庭まで車で送り届けます。体力的にも
、運転や子どもを預かる責任で精神的にも
ハードであろうと尋ねると、「夏の水遊び、冬
のそり遊び後の送迎はしんどいですよ」(氏

家さん)の声に大きくうなずく他の4人。でも、
その表情は…明らかに楽しんでいます。

仕事のやりがいは「特別な場面じゃなく日々
の中にある」で全員一致。「毎日の積み重ねで
小さな目標でも子どもが達成できたとき」「帰
るときの楽しかったという表情。今日もやっ
てよかった!と毎日思う」。どの言葉にも、
家庭、学校とは別の、子どもが安心できる
第3の居場所を自分たちが工夫して作って
いる自負がうかがえます。

■ 資格取得、起業、昇進

5人はそれぞれ自分の未来像についても未
知数ながら考え始めていました。「いつかは
就労支援×パン屋で起業」(安保さん)、「ニ
ーズの高い地方で、児童デイサービス・就
労支援・ケーキ屋を組み合わせ、子どもが
就労するまでの流れを作りたい」(増川さん)
と起業派もいれば、「当社の資源を存分に生
かして、新規事業の立ち上げに関わる存在に」
(岡田さん)と社内で高みをめざす考え方も
あります。

そのためにも「まずは資格でしよう」(山谷
さん)と、全員がさらなる資格取得を意識し
ています。なかでも現場職員の指導や助言
を行うリーダー的存在である児童発達支
援管理責任者は若手にはあこがれの資格で
す。また、安保さんは保育士資格をめざし
ています。

福祉の仕事の面白さと多様な選択肢を見
せてくれる5人はそれぞれキャラは違っ
ても一様に前途洋々。後輩に刺激を
与える、いい意味での型破りも期待
できそうです。



取材日は節分。3グループ全体での豆まきのリハーサルでは、
最後に現れて鬼を一掃する「神」の着付けと、子どもたちに徹
底するルールを確認しました。まくのは豆にみたく小さく丸
めた新聞紙。この日に向けて子どもたちと大量に作りました。